

# 部落解放研究第46回全国集会 部落解放研究第20回滋賀県集会

人権確立社会の実現のため、全国水平社創立90年を機に、あらゆる差別を克服する  
具体的な実践交流と研究活動をさらにおすすすめよう!

**日時** 2012年11月7～9日(水～金)

**会場** 滋賀県長浜市・長浜ドーム他

〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1320 TEL0749-64-0808

**集会規模** 6,000人

**参加対象** ①部落解放運動・研究にかかわる研究者・労働者・市民・宗教者・企業関係者・学生など  
②部落解放をめざす行政・教育関係者および各級議員  
③部落解放同盟の活動家をはじめとする部落大衆

**参加費** 4,000円(参加・資料費)

※2日目のフィールドワークに参加される方は、上記参加費以外に別途フィールドワーク参加費が必要です。

## 参加申し込みについて

- ①各団体で参加者の集約を行っていただき、部落解放同盟の各都府県連合会にお申し込みください。
- ②個人等、一般で参加される方もお住まいの地域の部落解放同盟各都府県連合会にお申し込みいただくか、部落解放同盟中央本部にお申し込みください。
- ③参加・資料費の振り込みは、部落解放同盟各都府県連から一括で下記の口座へお振り込みをお願いいたします。

〈振込先〉りそな銀行 桜川支店 普通預金 0426304  
部落解放同盟中央本部(全研)組坂繁之

## 参加割当

都府県	参加割当	都府県	参加割当	都府県	参加割当	都府県	参加割当
東京	300	静岡	20	和歌山	300	高知	50
埼玉	200	愛知	70	大阪	450	愛媛	10
群馬	100	岐阜	60	兵庫	350	福岡	300
栃木	60	三重	70	岡山	50	大分	80
千葉	30	富山	15	広島	70	長崎	20
神奈川	50	石川	15	山口	40	佐賀	70
山梨	10	福井	20	鳥取	100	熊本	100
長野	50	滋賀	2000	島根	20	宮崎	20
新潟	20	京都	400	徳島	50	鹿児島	20
福島	10	奈良	350	香川	50		

## 主催 部落解放研究第46回全国集会中央実行委員会

### ●中央実行委員会構成団体

公益社団法人全国人権教育研究協議会 部落解放中央共闘会議

全国大学同和教育研究協議会 社団法人部落解放・人権研究所

『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 同和問題に取り組む全国企業連絡会

部落解放同盟中央本部 部落解放研究第20回滋賀県集会実行委員会

## プログラム ●

### ①日目 11月7日(水) 全体集会(長浜ドーム)

- 12:00 受 付  
12:30 オープニング 長浜子ども歌舞伎  
13:00 開 会  
13:05 主催者代表挨拶  
13:10 現地実行委員長挨拶  
13:15 地元県連委員長挨拶  
13:20 来賓挨拶・来賓紹介  
13:30 **地元報告** 「滋賀県における部落解放運動」  
丸本 千悟 (部落解放同盟滋賀県連合会書記次長)  
14:00 **記念講演** 「震災復興と人権」  
湯浅 誠 (反貧困ネットワーク事務局長)  
寺川 政司 (近畿大学准教授)  
15:30 **記念講演** 「分かち合い」の経済学  
神野 直彦 (総務省自治財政局財政課地方財政審議会議長)  
16:40 事務連絡

### ②日目 11月8日(木) 各会場

- |            |           |                 |           |
|------------|-----------|-----------------|-----------|
| <b>分科会</b> | 9:00 受 付  | <b>フィールドワーク</b> | 9:30 集 合  |
|            | 9:30 開 会  |                 | 10:00 出 発 |
|            | 16:00 閉 会 |                 | 15:00 解 散 |

### ③日目 11月9日(金) 全体集会(長浜ドーム)

- 9:00 受 付  
9:30 開 会  
10:40 **記念講演** 「生活保護制度の今日的状況と課題」 道中 隆 (関西国際大学教育学部教育福祉学部)  
**記念講演** 「いじめと差別～  
競争と排除の社会から共助と包摂の社会へ」  
成山 治彦 (国立大学法人大阪教育大学理事)  
11:50 閉 会

## フィールドワークの申し込みについて ●

- ①フィールドワークの申し込みは、別紙「ご宿泊&お弁当・フィールドワークのご案内」をご参照いただき、お申し込みください。
- ②フィールドワーク参加費は、集会参加費とは別料金になります。
- ③フィールドワークの参加費(昼食・資料代含む)は、5,000円です。
- ④フィールドワークは、定員になりしだい締め切りますので、ご了承ください。

## 宿泊・お弁当申し込みについて ●

- ①宿泊につきましては、ランク別の料金設定になります。
- ②お弁当、宿泊の申し込み等詳細につきましては、別紙「ご宿泊&お弁当・フィールドワークのご案内」をご参照いただき、お申し込みください。

## 記念講演 講師紹介 1日目 全体集会

### 湯浅 誠 (ゆあさ まこと)

反貧困ネットワーク事務局長、NPO法人自立生活サポートセンター・もやい事務局次長。1990年代より野宿者（ホームレス）支援に携わる。2008～2009年年末年始の「年越し派遣村」では村長を務める。2009年から通算2年間、内閣府参与。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。

1969年生。著書に『反貧困』（岩波新書、2008年、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞大賞、第8回大仏次郎論壇賞）、『どんとこい！貧困』（イーストプレス「よりみちパン！セ」シリーズ、2009年6月刊）、『岩盤を穿つ』（文藝春秋社、2009年）など。

### 寺川 政司 (てらかわ せいじ)

近畿大学建築学部准教授（地域マネジメント研究室）〈博士（工学）〉、CASEまちづくり研究所取締役。大阪府豊中市在住。大学院時代に阪神淡路大震災を経験し、マイノリティ・コミュニティに対する復興支援のなかで、1999年にCASE-Japan/Community Architects for Shelter and Environment-Japanを設立。2000年CASEまちづくり研究所に改組し、地域住民を中心に多様な主体が協働しながら地域関係資源を活かしたまちづくりを支援。

### 神野 直彦 (じんの なおひこ)

1946年埼玉県生まれ。1981年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。大阪市立大学助教授、東京大学教授、関西学院大学教授などを経て、現在、東京大学名誉教授、地方財政審議会会長。専攻は財政学。

## 記念講演 講師紹介 3日目 全体集会

### 道中 隆 (みちなか りゅう)

1949年生まれ。大阪府立大学大学院前期博士課程修了。大阪府庁はじめ東大阪市、堺市など各自治体に勤務し、保健福祉のフィールド実践をとおして、保健福祉行政の企画運営に携わる。現在、関西国際大学教育学部教授、厚生労働省「社会保障審議会（生活保護基準部会）」委員

### 成山 治彦 (なりやま はるひこ)

1946年大阪市生まれ。私立中高校・府立高校教諭を経て、1994（平成6）年度より13年間、大阪府教育委員会で勤務。その間、大阪版教育改革プログラムの策定や総合学科の設置、高校の再編などを担当。2007（平成19）年に、教育監を最後に退職。その後、立命館大学接続教育支援センター教授を経て、2008（平成20）年度より国立大学法人大阪教育大学理事。

司会：赤井 隆史（部落解放同盟）

[午前の部]

**部落の闘いの歴史 ～全国水平社90周年を機に**

**報告** 「あらためて水平社宣言を読む」

渡辺 俊雄（全国部落史研究会運営委員）

**報告** 「滋賀県水平社の闘い」

武田 一夫（元公益社団法人甲賀・湖南人権センター理事）

[午後の部]

**部落解放運動と社会的起業**

少子高齢化の波は部落にも押し寄せている。差別や貧困、排除、社会的矛盾などの問題もまた部落に集中して現れている。人権のまちづくり運動など、これからの部落解放運動を展開する上で、社会的企業とも呼べる実践やその発想に立った実践が認知され始めている。地域の社会問題の解決をめざし、生活防衛やセーフティネット構築、雇用創出や人材育成などに挑戦しながら、持続可能な事業・活動・組織を創造していく社会的起業の手法や発想、「何とかしたい」「何とかせねば」という思いから出発し、それを形にしていくプロセスなどに学び、今後の発展の可能性や方向性をさぐる。

**基調報告** 「部落解放運動と社会的起業の可能性」

赤井 隆史（部落解放同盟）

**実践報告** 「子どもたちの居場所づくりに関わって～元総長のふれ愛義塾」

工藤 良（NPO法人TFG(田川ふれ愛義塾)理事長）

**実践報告** 「住んで良かったと思えるまちに～福祉と人権、住民主導のまちづくり」

松塚 信夫（桜井福祉のまちづくり委員会）

**部落の実態把握の工夫と新たな試み**

- ①日本社会全体の不安定化が叫ばれている中、部落の再不安定化が懸念されているにもかかわらず「法」期限切れ以降、被差別部落の実態把握のための取り組みが沈下してきている。このような状況にあって、近年、利用可能なデータ・方法を模索・駆使した部落の実態把握の一つの手法として、官庁統計の国勢調査小地域集計の活用が試みられており、その具体的内容と有効なデータとなりうることを紹介する。
- ②隣保館・隣保事業は地域に密着した施設であり、同和問題の解決、地域福祉の拠点施設として重要な意味を持っている。しかしながら今日の緊迫する自治体の財政事情や「平成の大合併」等により、必要とされているにも重要な隣保事業の形骸化や事業そのものの廃止の動きがみられてきている。このような中、厚生労働省の「2011年度社会福祉推進事業」のひとつとして「今後の隣保館が取り組むべき地域福祉課題を明らかにする実態調査」が取り組まれた。この調査の内容とそこから見えてくる課題と方向性、今後の隣保館のあり方について考える。
- ③近年、部落解放同盟の各地の女性部によりあいついで取り組まれた「部落女性のアンケート調査」は、部落女性のおかれている実状と問題解決への多くの示唆を与えてくれている。これらアンケート調査の具体的内容と、普遍的な課題や地域における独自課題などを紹介する。
- ④あわせて、2011年に部落解放同盟の女性部等が中心となり、「今日の被差別部落におけるひとり親家族の生活実態調査」が実施された。部落女性のなかのひとり親家族の特徴や一般地区のひとり親家族との比較でどのような特徴があるのか、また女性差別等との複合差別の実態について、調査からみえてくる課題について考える。

司 会：谷川 雅彦（部落解放同盟）

**[午前の部]****報 告** 「国勢調査を活用した部落問題調査～兵庫の部落・分析」

妻木 進吾（目白大学専任講師）

**報 告** 「今後の隣保館が取り組むべき地域福祉課題を明らかにする実態調査からみえてくるもの」

中尾 由喜雄（全国隣保館連絡協議会常任顧問）

**[午後の部]****報 告** 「部落女性アンケート調査結果からみえてくるもの」

山崎 鈴子（部落解放同盟）

**報 告** 「今日の被差別部落におけるひとり親家族の生活実態調査」

神原 文子（神戸学院大学教授）

- 2013年度全国学力・学習状況調査の「家庭の経済状況」調査を活用し、真の学力格差是正策を確立する
- 2012年公表の文科省「特色ある人権教育実践事例集・64事例 2011年」を活用し、全国的な人権教育の実践を高めていく

①2013年度は全国学力・学習状況調査が全小中学校が参加する年となる。そしてこの間の検討結果から、家庭の経済状況を探る質問項目をアンケート調査に加え、この視点からも学力格差の解決に取り組むことを決定した。2008年全国調査前より部落解放運動が求めていたことが、ようやく一部、実現しようとしている。低学力の社会的背景を無視・軽視し、いたずらにテストの点数や順位にのみ目を奪われる偏向に歯止めをかけ、真の学力格差是正策を確立する。

②2010年度より検討されてきた「特色ある人権教育実践事例集・64事例 2011年度」が、文科省のホームページにアップされた。2012年度以降も、この取り組みは継続され、全国の小中高・特別支援校の実践事例が蓄積されていく。こうした実践事例を様々な視点から建設的に評価し、全国的な人権教育の実践を高めていく。

司 会：(午前の部) 安田 茂樹 (部落解放同盟)  
(午後の部) 中村 清二 (部落解放・人権研究所)

[午前の部]

**問題提起** 「人権・同和教育をとりまく現状と課題」

岡田 健悟 (部落解放同盟)

**講演** 「学力保障を下支えする全国の学校調査の結果と課題」

志水 宏吉 (大阪大学)

[午後の部]

**行政説明** 「特色ある人権教育実践事例集・64事例 2011年度」

春山 浩康 (文科省児童生徒課)

**実践報告** 「人権教育総合推進地域事業の取り組みについて」

滋賀県栗東市教育委員会

**実践報告** 「教科書の歴史的記述に基づいた学習を通して、指導方法の改善・充実を図る取組」

兵庫県たつの市立神岡小学校

**実践報告** 「西成高校における反貧困学習の成果と課題」

肥下 彰男 (大阪府立西成高等学校教員)

助言者：栞原 成壽 (公益社団法人全国人権教育研究協議会)

桂 正孝 (宝塚大学)

**人権啓発について多様な実務者とともに、新しい学び方を探求する**

- ①人権啓発活動が地域や職場で活発に取り組まれるようになってから長い年月が経過し、その結果、行政、企業、地域でも啓発に取り組む「専門的」な実務者が層として存在している。分科会では各地の「専門的」実務者のネットワーク構築にむけて論議する。
- ②午前の部では啓発のあり方について基本となる考え方を整理し、今日の市民意識調査から新たな特長を探り、啓発の方向性について議論する。
- ③午後の部では、「ワールド・カフェ」という話し合いの手法を取り入れながら、学びの場をどのように創っていくかを参加者が実際に経験しながら考える。

司 会：浮穴 正博（おとなの学び研究会）

**[午前の部] ～これからの人権啓発を問う～**

**問題提起** 「これからの人権教育・啓発～国内外の状況を視野に入れて」

上杉 孝實（京都大学名誉教授）

**問題提起** 「最近の市民意識調査の結果から」

阿久澤 麻理子（大阪市立大学）

**[午後の部] ワークショップ**

**参加と対話で考える「これからの学びの場のあり方」**

～「ワールド・カフェ」の実践をとおして

進行役：浮穴 正博（おとなの学び研究会）

鶴岡 弘美（部落解放同盟）

大西 英雄（大阪同和・人権問題企業連絡会）

助言者：上杉 孝實（京都大学名誉教授）

阿久澤 麻理子（大阪市立大学）

吉田 勝夫（部落解放同盟）

**狭山再審の実現と冤罪・誤判をなくすための課題を考える**

- ①狭山事件の真相、石川一雄さんの無実を示す証拠について考える。第3次再審請求の三者協議や証拠開示などの動きについて報告を受け、狭山事件の再審をひらくための取り組みを考える。
- ②さまざまな冤罪事件の実態を通して、冤罪・誤判を生み出す社会、刑事司法、メディア等の問題点を明らかにするとともに、冤罪・誤判をなくすための課題を考える。
- ③代用監獄や人質司法、検察官、裁判官のありかたなどの問題点を考え、誤判・冤罪をなくすための司法改革の課題を考える。
- ④取調べの全過程の可視化、公正な証拠開示の法制化を実現するための課題、運動について考える。
- ⑤国連・自由権規約など国際人権法や人権基準、各国の司法制度に学び、日本における司法改革の課題を考える。

司 会：小野寺 一規（部落解放同盟）

**報 告** 「狭山第3次再審請求の現状と課題」

中山 武敏（狭山事件再審弁護団）

**報 告** 「狭山事件の真実」石川一雄さんの訴え

石川 一雄（狭山事件再審請求人）

**報 告** 「あいつぐ再審の教訓と司法改革」

庭山 英雄（弁護士）

**アピール** 「袴田事件の真相と再審開始にむけて」

袴田 ひで子（袴田事件再審請求人）

**訴 え** 「袴田事件再審請求の現状」

山崎 俊樹（袴田巖さんを救援する清水・静岡市民の会）

**報 告** 「狭山再審の実現とあらゆる冤罪をなくすための課題」

松岡 徹（部落解放同盟）

助言者：松岡 徹（部落解放同盟）



**今日の部落差別事件について考える**

- ①差別書込みや差別情報の氾濫など、インターネット上の差別事件、人権侵害の状況をふまえ、高度情報化時代における差別（事件）の実態と対応策を考える。
- ②差別糾弾闘争と人権侵害救済制度について考える。
- ③戸籍等不正取得事件を通して本人通知制度の取り組み課題を考える。

司 会：北口 末廣（部落解放同盟）

[午前の部]

**講 演 「インターネットと人権」**

松井 修視（関西大学）

[午後の部]

**報 告 「差別街宣損害賠償請求裁判の取り組み」**

伊藤 満（部落解放同盟）

**報 告 「プライム事件について」**

片岡 明幸（部落解放同盟）

**報 告 「公文書部分公開処分取り消し等請求事件について」**

滋賀県総合政策部人権施策推進課

**人権侵害救済制度の確立にむけた今日的課題について考える**

- ①「人権委員会設置法案」制定をめぐる取り組み状況をふまえ、人権の法制度確立にむけた課題を考える。
- ②国際人権諸条約などから、今後の部落問題解決にむけた取り組みの課題を考える。
- ③これからの人権侵害救済制度のあり方について考える。

司会・報告：和田 献一（部落解放同盟）

[午前の部]

**報 告 「国内人権機関の必要性と課題」**

藤原 精吾（日本弁護士連合会）

**「人権委員会設置法案をめぐる取り組み課題」**

福山 哲郎（参議院議員）

[午後の部] シンポジウム「これからの人権侵害救済制度を考える」

**パネラー** 藤原 精吾（日本弁護士連合会）

福山 哲郎（参議院議員）

**琵琶湖から見る環境と人権（見て、聞いて、感じて）**

- ・定員 400人
- ・参加費 5,000円（昼食・資料代含む）
- ・集合 午前9時30分 長浜港
- ・出発 午前10時 長浜港発
- ・解散 午後3時 長浜港着

**【内容】**

びわこ汽船の豪華客船ピアンカで嘉田由紀子滋賀県知事の講演および、嘉田知事と組坂繁之部落解放同盟中央執行委員長が「環境と人権」について対談を行う。また、琵琶湖クルージングと竹生島を散策。

**[午前の部]**

---

**講演** 「今だからびわこ～人と自然の絆再生に向けて～」(仮)

嘉田由紀子（滋賀県知事）

テーマ 「環境と人権について」

**対談** 嘉田由紀子（滋賀県知事）

組坂 繁之（部落解放同盟中央執行委員長）

**散策** 竹生島を散策（NPO法人長浜ボランティア協会による案内と説明）、昼食

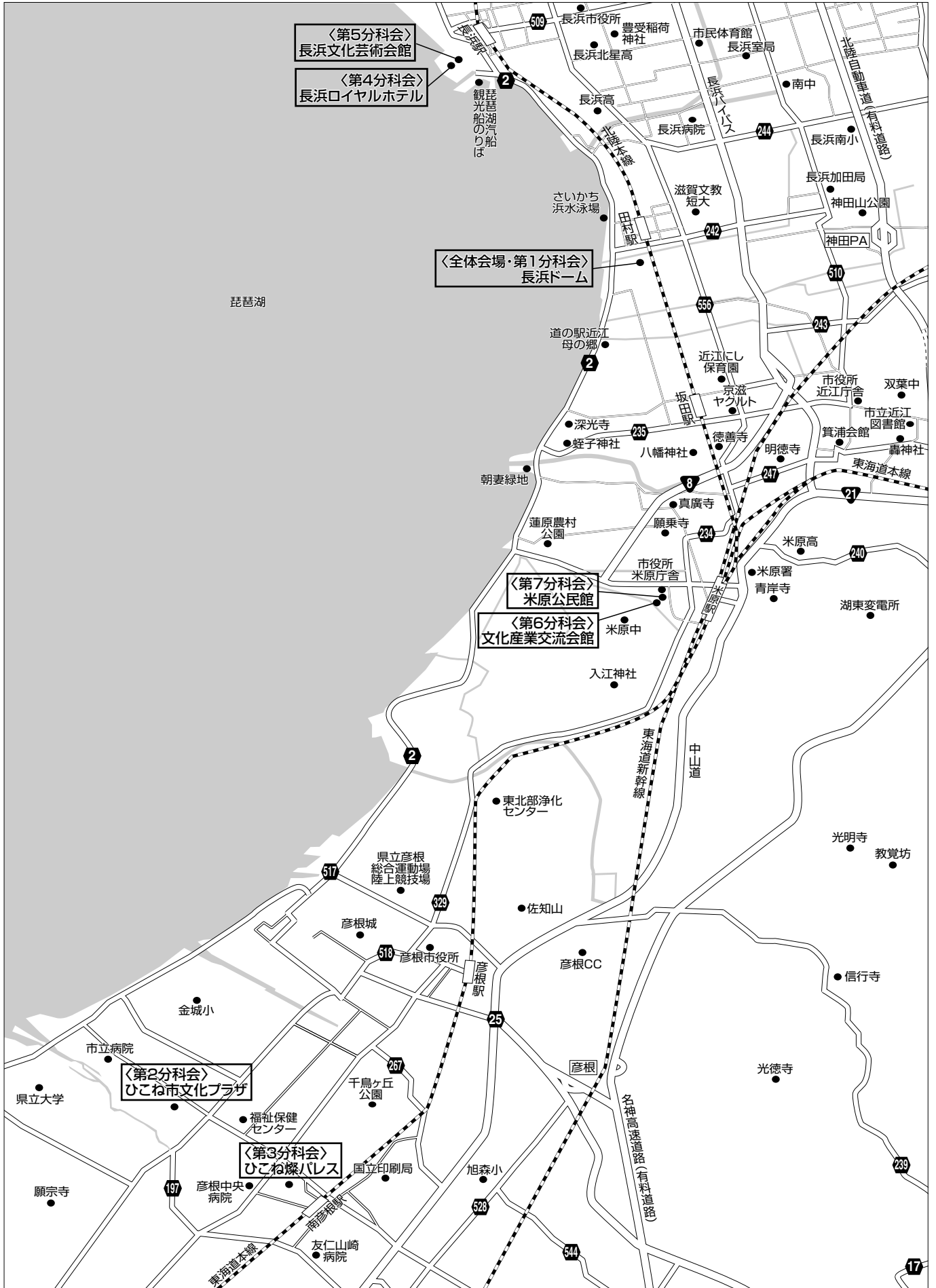
**[午後の部]**

---

**講演** 「抱きしめてBIWAKOを開催して」

白井 幸則（抱きしめてBIWAKO実行委員会実行委員長）

# 会場全体地図



# 会場付近地図

## 全体会場・第1分科会 長浜ドーム

〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1320 TEL 0749-64-0808



### 交通機関

・ JR「米原駅」よりJR琵琶湖線「田村駅」下車、バイオ大学側より徒歩5分(400m)〈京都・大阪方面より直通の新快速電車あり〉

## 11月7日(水) 全体会用 新幹線 米原駅から長浜ドーム行きのJR線接続時刻表

		新幹線		米原駅	北陸線(琵琶湖線)			
時	上り	下り	乗り換え	米原駅 発	⇨	田村駅 着	時	
9		9:15 着 こだま	⇨	9:34	⇨	9:40	9	
	9:34 着 こだま 9:55 着 ひかり	9:54 着 ひかり	⇨	10:04	⇨	10:09		
10		10:15 着 こだま	⇨	10:30	⇨	10:35	10	
	10:34 着 こだま 10:55 着 ひかり	10:54 着 ひかり	⇨	11:03	⇨	11:08		
11		11:15 着 こだま	⇨	11:30	⇨	11:36	11	
	11:34 着 こだま 11:55 着 ひかり	11:54 着 ひかり	⇨	12:03	⇨	12:08		
12		12:15 着 こだま	⇨	12:30	⇨	12:36	12	
	12:34 着 こだま 12:55 着 ひかり	12:54 着 ひかり	⇨	13:03	⇨	13:08		
13		13:15 着 こだま	⇨	13:26	⇨	13:31	13	
	13:34 着 こだま 13:55 着 ひかり	13:54 着 ひかり	⇨	14:03	⇨	14:08		
14		14:15 着 こだま	⇨	14:26	⇨	14:31	14	
	14:34 着 こだま 14:55 着 ひかり	14:53 着 ひかり	⇨	15:03	⇨	15:08		

**第2分科会 ひこね市文化プラザ（グランドホール）**

〒522-0055 滋賀県彦根市野瀬町187-4 TEL 0749-26-8601

**第3分科会 ひこね燦パレス**

〒522-0043 滋賀県彦根市小泉町648-3 TEL 0749-26-7272



■交通機関

・ひこね市文化プラザ

JR「南彦根駅西口」から近江鉄道バスに乗り、県立大学線 県立大学行き「文化プラザ」下車（一部ダイヤのみ）「松田団地」下車徒歩12分（960m）

・ひこね燦パレス

JR東海道線「南彦根駅」下車。「南彦根駅西口」より徒歩8分（160m）。

・ひこね市文化プラザ・ひこね燦パレス前行きの臨時バスについて

JR「南彦根駅西口」から第3分科会会場ひこね燦パレス前経由、第2分科会会場ひこね市分科プラザ行きの臨時バス（往復）が運行されます。（運賃は200円です）

**11月8日（木） 第2分科会・第3分科会用臨時バス時刻表**

運賃 ¥200

※発車時刻になってもお客様がおられない場合は、運行いたしません。

南彦根駅西口 ⇨ ひこね燦パレス前 経由  
ひこね市文化プラザ 行き

ひこね市文化プラザ ⇨ ひこね燦パレス前 経由  
南彦根駅西口 行き

時			
8			40
9	00	20	40
10	00		

時			
14		30	50
15	10	30	50
16	10	30	

**第4分科会 長浜ロイヤルホテル（ロイヤルホール）**

〒526-0066 滋賀県長浜市大島町38 TEL 0749-64-2000

**第5分科会 長浜文化芸術会館**

〒526-0066 滋賀県長浜市大島町37 TEL 0749-63-7400



■交通機関

●長浜ロイヤルホテル

JR「米原駅」よりJR琵琶湖線「長浜駅」（琵琶湖側）下車、徒歩10分（800m）

●長浜文化芸術会館

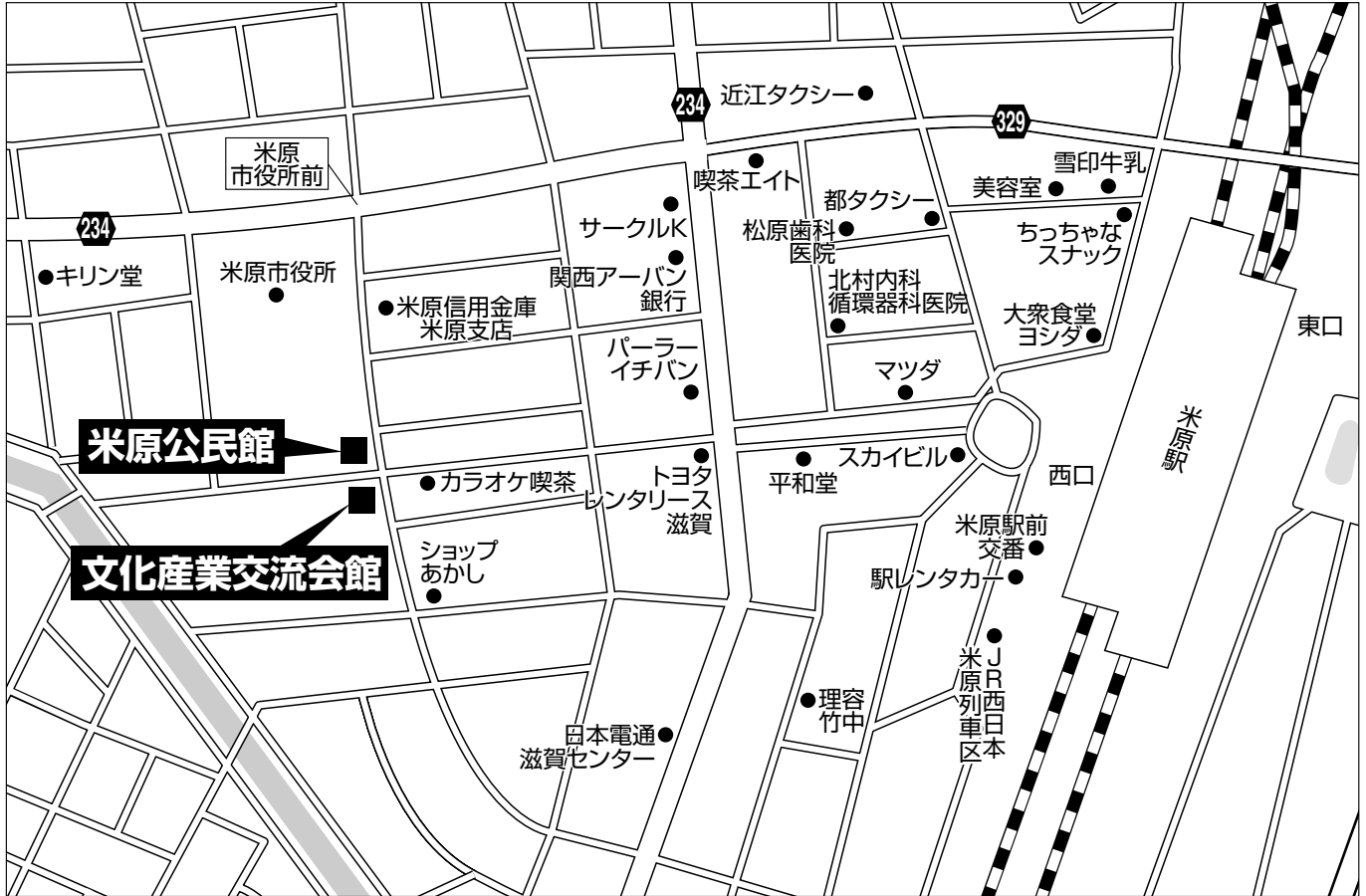
JR「米原駅」よりJR琵琶湖線「長浜駅」（琵琶湖側）下車、徒歩12分（960m）

**第6分科会****文化産業交流会館（イベントホール）**

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137 TEL 0749-52-5111

**第7分科会****米原公民館（大ホール）**

〒521-0016 滋賀県米原市下多良3丁目3 TEL 0749-52-2240

**交通機関**

- **文化産業交流会館**

JR「米原駅」下車、西口より徒歩約10分(800m)

- **米原公民館**

JR「米原駅」下車、西口より徒歩約10分(800m)